仁科文秀議員

まちづくり協議会への行政の支援について

議員　①まちづくり協議会の仕組みを成功させるための人材の育成、情報公開と共有、組織づくりの支援をどのように考えているのかたずねる。
②これから職員の意識をどう高めていくのかたずねる。
市長　①人材の育成については、今後地域のまちづくりを推進、継続していく上で最も重要であり、様々な方策を検討していきたい。
　情報公開と共有については、まちづくり協議会連絡会議等を通じて図っていきたい。組織づくりへの支援については、地域担当職員と協働のまちづくり課を中心に支援を考えている。
②私からも考え方、心構えを伝え、さらに研修の充実等で職員の意識を高めていきたい。

社会資本の老朽化対策について

議員　①施設の維持や管理にかける歳出をもっとふやしていくべきではないか。
②維持管理、更新を効率的に実施するため、民間活力の活用は考えられないか。
市長　①来年度予算についても別枠予算で一定額を確保するなど、公共施設の修繕等に配慮していくことを考えている。
②今後、国、県の動向を見守る中で検討していきたい。

施設の有効利用について

議員　①認知症介護研修センターについて、今後どのように利用促進を図っていくのか。
②勤労青少年ホーム「バグース」の利用者の減少の対策として昼間を市民に開放する等、施設の利用促進はできないか。
健康福祉部長　①新たな研修会の導入、対象者の拡大等により、利用促進に努めたい。
建設産業部長　②他市の状況、利用者、関係機関等を調査し対応していきたい。

東川三郎議員

協働のまちづくりについて

議員　まちづくり協議会は公民館等の活動と重複するのではないか。
市長　まちづくり協議会の役割の一つは、各団体の横の連携や活動支援であり、それにより各団体はさらなる活動の充実や、より効果的な事業ができると考えている。

金浦小学校の火災と津波に対する避難について

議員　①大型消防車が入れない現状での火災時の避難訓練の指導をどのように行っているのかたずねる。
②小学校において、東南海地震による津波への対策についてたずねる。
教育長　①火災時の避難訓練を年に2回実施し、出火場所等、必要に応じて随時想定を変えることにより、的確に状況を判断できるように指導している。
市長　②緊急地震速報器システムを活用した避難訓練を10月に実施する予定であり、児童の安全を第一に考え、迅速に避難できるよう指導していきたい。

笠岡市の観光について

議員　低コストでつくるアウトドア的な観光を目玉にしてはどうか。
市長　島しょ部にはキャンプ地や遊歩道等が多く、今後それらを活かした観光を産業振興ビジョンを策定する中で検討していきたい。

笠岡市の人口減少について

議員　定住促進の政策として、趣味等の集いの場所を提供して若者の参加を促し、結婚につなげる、といった考えはあるのか。
市長　井笠圏域事業で、今までにもそうした事業を実施しており、来年度以降も継続実施となれば引き続き企画していきたい。

ほかに★**笠岡祭り**について質問しました。